

まちのきこり人育成講座

実践間伐 小径木間伐と掛かり木処理 活動報告

作成 辻 則行 2010 年 9 月 23 日(木)

1. 開催場所 : 向井 F 1 (亀山市関町加太向井)
2. 開催日 : 2010 年 9 月 19 日 (日) 午前 8 : 30 ~ 15 : 00
3. 参加者 会員 : 瀧口夫妻、櫻井、岡島、蒲田、裏川、清水、辻 (敬称略 順不同)
一般受講生 : 2 名 (田中、館 敬称略 順不同)
今回は、裏川、清水の 2 名が一般受講生と共に参加。
講師以外のメンバーは別の作業をして頂いた。
4. 内容
間伐を行う森林は木々が混み合い伐倒しても隣の木へかかってしまうのはよくあることです。
今回は、そういった事態に安全に対処する作業方法と道具を紹介するとともに受講生の方に体験してもらった。
 - 1). 回し切りによる掛かり木処理
チェーンソーを使ってツルを小さくし木の自重で回転させ倒します。倒す際には掛かっている木の状態、どの程度ツルを小さく残すか、切り込み時の木の動きなど注意を払わなければなりません。
 - 2). 補助道具を使つての掛かり木処理
フェリングレバー・鳶・回し木などの道具を使って処理をします。その時も掛かり木を回す方向、フックがしっかりと掛かり木に引っかかっているか、回す時の身体の姿勢も大切です。

今回の講座ではわざと掛かり木になるよう行つたが、受け口が定まらず木が掛からなかったり、回し切りのツルを切り込む操作でうまくツルを残せないなど失敗もあった。、受講生達は各自の欠点を話し合ったり、反省点を心がけながら時間いっぱいまで掛かり木処理の作業に取り組んで頂いた。
5. 活動の写真



以上

まちのきこり人育成講座は、平成 22 年度 三井物産環境基金の助成を受けています。